

start 40 → now 45 歳

長谷田愛さん

取材・文◎藤田優里子

頑張る姿を見せることが 家族にも、良いことなのです

不安より、目的に向かって
進む気持ちが強かった

長谷田愛さんが整形外科クリニックでリハビリスタッフとして働き始めたのは、昨年2月のことでした。あん摩マッサージの施術をしながら、週に二度、アロママッサージも行っています。そもそもクリニックに就いたのは医療現場で患者と接したい、より専門的な知識を得たいという思いからでした。

20代後半からアロマ・ハーブの専門店で働きながらセラピストとしても活動していましたが、東日本大震災で被災者の姿を目のあたりにし大きな衝撃を受けました。その出来事をきっかけに医療的にもアプローチしたいと強く思うようになり、あん摩マッサージ指圧師科のある長生学園に入学します。そのとき長谷田さんは40歳。不安より、目的に向かってまっすぐに進んでいこうという気持ちの強さが強かったそうです。それでも、思うことが何もなくあったわけではありません。「家の仕事も一生懸命したいけれど、

完璧にはできない。子どもはまだ小学一年生で、十分に面倒をみられていない、と自己嫌悪に陥ったときもありました。でも、頑張っている姿を見せることが、子どもにとっても良いことなのだと考えるようになりました」

加齢による体力不足や記憶力低下などで気後れる人もいるかもしれませんが、でもストレッチをする、繰り返して学習するなど、できる方法で補っていけばいいと言います。それに更年期障害や白髪、しわなど「若い」を実感しているから、思いやりをもって相手に寄り添うこともできます。

「やってみたいという強い意志があれば、きつと、一つひとつ乗り越えていけるでしょう」

これからの目標は、自分にしかできない施術をより深くより広く提供できるようにすることだそうです。

「東洋医学、とくに鍼灸の技術も身につけたいです。そして、いつか命にかかわること、緩和ケアなどにも関わっていったら、そのための勉強を、これからも続けていきます」

Profile

はせだあい 1973年生まれ。アロマセラピスト、あん摩マッサージ指圧師。その他、ハーブ、アロマコーディネーター、エサレンマッサージ、健康運動指導士など、さまざまな資格を取得。長生学園でマッサージ師の国家資格を習得。現在は整形外科クリニックにリハビリスタッフとして勤務し、さらなる技術・知識の獲得を目指している。

自分の直観に従い、自然な流れに逆らわずに前進してきたという長谷田さん。一児の母でもある。



長谷田さんのセラピスト年表

2000年	ハーブとアロマの専門店では販売や事務の仕事の傍ら、パラフィンパックやハンドなどの施術を行う。日本アロマ環境協会の資格取得
2003年	勤務していた雑貨店にてサロン立上げに参加。その後ボディなどの施術を行う
2007年	雑貨店勤務を続けながら、鎌田麻莉氏のもとで、アメリカにてエサレンボディワークプラクティショナーの資格取得。日本アロマコーディネーター協会でも資格取得
2010-16年	整体院のスタッフとしてアロマセラピーの施術を行う
2014年	整体院勤務と並行して、長生学園あん摩マッサージ指圧師科で学ぶ
2017年	長生学園卒業。国家資格取得。整体院勤務と並行して、整形外科クリニックに1年間勤務
2018年	あべ整形外科クリニックにリハビリスタッフとして勤務。運動器リハビリテーションセラピストの資格取得

アクセサリー制作やディスプレイ、ダンスそしてセラピストとしての施術。さまざまな意味での「ものづくり」を通して、いつも何かを表現していきたい。それが、よりよく生きることに繋がっている、という。

